

令和5年度県高校総体兼全国・東海総体県予選競技運営について

岐阜県高体連バレーボール専門部

【試合運営について】

○大会参加申込時の選手登録について

- ・チームは大会参加申込時に最大18名の選手を登録することができる。
- ・申込時に登録したエントリーメンバーはその大会を通じて有効で、変更することはできない。
※エントリー変更がある場合は各チーム初日（21日）の朝、受付時に再提出可能。

○試合当日の構成メンバーとユニフォームについて

- ・試合当日は申込時に登録した18名の選手から12名以内のノーマルプレーヤーと、2名以内のリベロプレーヤーを構成メンバーとして試合ごとに申告し、試合を行うことができる。ただし、構成メンバーが12名を超える場合、リベロプレーヤーは必ず2名でなければならない。
- ・ユニフォームは14番までの連番が望ましい。同一選手が別の番号を着用することは避ける。
- ・構成メンバー表は大会当日に配布し、試合ごとに選手14名以内をエントリーして提出する。エントリーは試合ごとに行い、選手14名については試合ごとに変更できる。
※会場に到着したチームは本部で受付をすませ、速やかに構成メンバー表を提出する。

○監督・コーチ等について

- ・監督は当該校の学校長が認めた者であれば、監督を務めることができる。
- ・コーチは当該校の学校長が認めた者であれば、コーチとしてベンチ入りすることができる。ただし生徒は認められない。
- ・マネージャーは当該校の職員か生徒（生徒の場合は必ず運動用服装を着装する）
- ・当該校の職員以外の者が監督コーチとなる場合は、年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。登録できるのは、監督またはコーチのどちらか一方に限る。
- ・ベンチスタッフのうち必ず1名以上は、引率責任を負える者を置く必要がある。（公立学校では非常勤講師、事務職員は引率責任者にならない）
- ・ベンチスタッフを教職員（マネージャーは生徒を含む）で構成する場合については、「同じ学園内の異なる高等学校」「同じ高校内の全日制・定時制」間を兼務している場合は、学校長が同一であれば当該校の職員と認める。

○ネットの高さについて

- ・1日目（21日）：男子2m40cm、女子2m20cmとする。
- ・2・3日目（28、29日）：男子2m43cm、女子2m24cmとする。

○大会使用球について

- ・男子モルテン(V5M5000)、女子ミカサ(V300W)のカラーボール（人工皮革）を使用する。

○プロトコールについて

- ・トスは記録席で行い、ファーストレフェリー（主審）の合図で公式練習（各3分または合同6分）を開始する。
- ・公式練習終了後、レフェリーの指示で14名がエンドライン上に並び、挨拶の後ベンチに戻る。挨拶の際、選手はアタックラインに並び、拍手する。（握手なし）
- ・スターティングプレーヤーはコート内に入りラインアップを確認後、試合を開始する。
- ・公式練習についてはすべての試合で行う。
- ・前の試合が終わったら自動的に次の試合の5分間の合同練習タイムに入る（追い込み形式）
- ・試合が連続する場合は、20分間の休憩時間を設け、その後試合開始とする。
第2日、第3日の試合が連続する場合は、40分間の休憩時間を設け、その後プロトコールとする。

○日程について

・開場時間 8時30分

・練習時間等

男子

8:30~8:50 第2・第4試合のチーム

8:50~9:10 第1・第3試合のチーム

女子

8:30~8:50 第2・第3試合のチーム

8:50~9:10 第1・第4試合のチーム

9:10~ 代表者会議、開始式

9:40~ 第1試合開始

・2日、3日目については、該当チームへ連絡する。

【審判について】

○競技規則について

- ・本大会は、2023年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項で行う。
- ・選手交代は、ナンバー・パドルおよびブザーを使用しない。
- ・本大会は、ワンボールシステムで行う。
- ・監督はベンチから離れて指示をすることができる。

○ワイピングについて

- ・試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。状況により、審判員の指示でラリー終了後、交代選手(3名以内)が速やかにコートに入ってからワイピングを認める。
- ・タイムアウト時及びセット間のワイピングは、各チームで行う。

○服装について

(競技に出場する選手)

- ・ユニフォームのチーム表示は、学校名またはその略字とする。特に校章・代表地区名を加えることができる。個人名の表示は禁止する。番号の高さは胸番号15cm以上、背番号20cm以上とする。
- ・リベロプレーヤーは、チームの他の競技者とははっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともゲームシャツだけは)を着用しなければならない。(左右対称や上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること)リベロが2名の場合、リベロはチームの他の競技者と異なる色で、さらにはお互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。
- ・ソックスはユニフォームの一部であるため、統一すること。(ベリーショートは禁止)
- ・アンダーシャツ・パワーパンツについては、ユニフォームからはみださないこと。
- ・競技中、相手チームに悪い影響を与えるような形状・色彩は避けること。
- ・競技に関し、危険・支障があると思われる装飾品等の着用は避けること。
- ・ユニフォームはシャツの裾をパンツの中に入れてプレーをすること。

(ベンチスタッフ)

- ・ベンチスタッフは、統一されたウェアとする。ただし統一されていない場合には、いずれかがジャケットを着用する。生徒がマネージャーの場合は、運動のできる服装であればよい。
- ・所定のマーク〔監督(監)、コーチ(C)、マネージャー(M)章〕は、明確に判別できる位置につけること。(左胸部が望ましい)
- ・規定に則さないと大会役員が判断した場合、チームまたは選手に注意を促すこととし、監督、コーチについてはベンチ入り認められない。

○トレーナーについて

- ・当該チームの試合中に限り、チームトレーナーがフロア面（コントロールエリア外）に降りることができるが、コントロールエリア内、ウォームアップゾーンにいる選手に施術することはできない。また、チームへの戦術通達や応援もすることができない。
- ・大会ごとにチームトレーナーを参加申込時に申請書にて申請する。また、申請には、チームの学校長の承認を必要とする。
- ・チームトレーナーはビブスを着用すること。ビブスは各チームで準備すること。

○公式練習について

- ・相手チームは当該チームの迷惑にならないようにする。自チームベンチ前、または相手側コート後方で行う。
- ・公式練習時は、ベンチスタッフ及び14名の選手の者しか競技場内にいることができない。

○コートアシスタントについて

- ・第1試合のスコアラー（記録）、ラインジャッジ（線審）、得点は試合の組み合わせ表で指定されたチームが行う。第2試合以降は前試合の敗者チームで行う。

○開始式、閉会式

- ・開始式については、第1日に会場ごとに実施する。第3試合までのチームは必ず参加すること。
- ・閉会式については、第3日試合終了後に実施する。

○給水タイムについて

- ・気温の上昇が予想されるため、熱中症予防の観点から、「給水のためのタイムアウト」を採用する。
- ・リードするチームが13点目に達したとき、30秒間の給水タイムを適用する。
- ・セカンドレフェリー（副審）が給水タイムのホイッスルを行い、コントロールする。13点で給水タイムのホイッスルが行われなかった場合は、気づいた時点のラリー完了後にホイッスルし、給水タイムを行う。
- ・13点で正規の試合中断を要求する場合は、給水タイムを優先する。
- ・第3セットについては、コートチェンジ後にそのままウォームアップエリア付近に移動し、セカンドレフェリーのホイッスルで給水タイムに入る。
- ・給水を行う場所はウォームアップエリア付近とし、給水タイム中にチームスタッフが会話や指示をすることは禁止する。生徒マネージャーはこれに含まない。
- ・25点以降は、30-30、40-40というように10点おきに給水タイムを採用する。

【その他】

○会場使用上の注意について

- ・貴重品は各チームで保管すること。
- ・上下足の区別については厳守すること。
- ・競技に関係のある場所以外への出入りを禁止する。
- ・清掃はチームで徹底し、応援席や控室（更衣室）など会場内のゴミはすべて持ち帰ること。
- ・部旗、横断幕等の位置、場所については、競技に支障をきたさないように配慮し、競技中のチームを優先して掲げるものとする。
- ・競技関係者以外の応援は、2階のギャラリーを利用し、本部席、競技場1階フロアへは立ち入らないこと。
- ・**駐車場は各会場校に迷惑のかからないよう極力乗り合わせで行く。**
このことは各チームで保護者等関係者へ必ず連絡し徹底すること。
- ・会場校での、湯茶等の当番はなしとする。
- ・観戦者は会場から示された観戦マナーを徹底する。極端に早い時間に駐車場に並んだり、シート等を敷いての場所取りはご遠慮ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・マスクの着用は任意とする。
- ・各コートの試合が終了する毎に、ギャラリーの観戦者の入れ替えを行う。その際、貴重品の管理を徹底する。特に記録媒体（スマートフォンやビデオカメラ等）について撮影者がいない状態を避ける。
- ・レフェリーは、マスクの着用をした上での吹笛をする。電子ホイッスルは使用不可とする。
- ・大会を通して、観客席は十分な間隔を確保すること。
- ・観戦する際に発声を伴う応援や手拍子、メガホンの使用についても認める。
（ウォームアップエリアでの発声も認める。）
- ・高校会場について、太鼓等の鳴り物の使用は禁止とする。また、全ての会場について、拡声器の使用は禁止とする。